

平成 26 年度第 1 回子宮頸がん検診委員会議事録

日時：平成 26 年 6 月 5 日（木） 16：30～17：30

会場：パシフィコ横浜 会議センター 4 階 416+417

出席者：33 名（含代理） 67%

開会挨拶：大野委員長

議長選出：立候補がないため、執行部指名により今枝運営副部長が選出された。

議事

1. 平成 25 年度活動報告

1) 運営部（大塚運営部長）

- ①子宮頸がん検診委員会を第 54 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（東京）と第 52 回日本臨床細胞学会秋期大会（大阪）の細胞学会時に開き、議事録を作成し、活動報告、活動計画、審議事項等をホームページに掲載した。
- ②2 回の啓発用パネル展示のポスター投稿集計や配置を行った。
- ③2 回の学会に使用した啓発用パネル展示の掲示物の保管と輸送（保管は学会開催地の委員、輸送先は次回学会場）を行った。
- ④「子宮頸がん検診委員会資料利用規定」作成を行った。

Q. 「子宮頸がん検診委員会資料利用規定」については、委員会として審議しているのか。（鈴木委員）

A. 執行部から作成した旨のメールを出しているが、委員会全体として審議されていなかった。この場において、審議されたい。（大塚運営部長）

* 「子宮頸がん検診委員会資料利用規定」は出席委員により承認された。

2) 啓発部（加藤啓発部長）

- ①第 54 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（東京）と第 52 回日本臨床細胞学会秋期大会（大阪）の学会場で啓発展示を行った。
- ②第 52 回日本臨床細胞学会秋期大会（大阪）で開催された市民公開講座会場において市民向けの啓発展示を行った。また、受付業務に協力し、同講座の司会も行った。
- ③「Love 4 9 ニュースレター 2014 年春」版（NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会発行）に記事（中村啓発副部長に写真とコメントを依頼）を掲載した。
- ④細胞検査士会オリジナルパンフレットを作成する際の資料を提供した。

3) 調査研究部（藤井調査研究部長）

- ①子宮頸がん検診に関するアンケート調査（平成 24 年度分）を実施し、27 都道府県から回答を得た。集計結果を第 54 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（東京）においてパネル展示した。
- ②一般市民向けアンケートを実施し、13 府県から回答を得た。
集計結果を第 54 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（東京）並びに第 52 回日本臨床細胞学会秋期大会（大阪）においてパネル展示した。

4) 検診アンケートの集計について（大野委員長）

昨年より行っていた検診の報告様式に関するアンケートについて、47 都道府県のデータが集計できた。資料の配布と本学会の啓発ポスター展示会場へ展示を行いたい。

2. 平成 26 年度活動計画

1) 運営部（大塚運営部長）

- ①子宮頸がん検診委員会を第 55 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）の細胞学会時に開き、議事録を作成しホームページに掲載する。
- ②展示パネル展示に用いた掲示資料の保管と運用の管理を行なう。
- ③検査士会会報などの細胞学会に関する会誌へ、啓発活動、調査研究の集計等の掲載を企画する。
- ④第 53 回日本臨床細胞学会秋期大会（下関）での委員会は、開催はしないこととする。

2) 啓発部（加藤啓発部長）

- ①第 55 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）と第 53 回日本臨床細胞学会秋期大会（山口）の学会場での啓発展示を行う。
- ②第 55 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）翌日の市民公開講座で市民向けの啓発展示を行い、公開講座の司会と講演を行う。
- ③秋の大阪で開催される第 23 回日本婦人科がん検診学会で啓発展示を行う。

3) 調査研究部（藤井調査研究部長）

- ①一般市民向けアンケートを平成 26 年度も継続して実施し、集計結果をパネル展示等報告する。
- ②子宮頸がん検診に関するアンケート調査について、過去の内容と昨年度実施した内容を再度修正し、調査用紙を作成する。過去 4 年分を再調査・集計し、パネル展示およびペーパー化する。
- ③第 55 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）において、一般市民向けアンケートの過去 3 年分と平成 26 年度集計結果についてシンポジウムで発表する。

④第 23 回日本婦人科がん検診学会において調査結果をパネル展示する。

3. その他

- ・連絡事項：ポスター展示および撤収作業について（大塚運営部長）

議長解任

閉会挨拶：大野委員長

議事録作成：（運営部）大塚、今枝